

①改正バリアフリー法活用  
②子育て・教育充実

無会派(ここに幸あれ) 幸野 おさむ



幸野) ◆国分寺駅北口階段・スロープ上部に屋根設置を◆車イス、ベビーカー等で通行する際や、階段で手すりを使用する際、傘を差すことが出来ない。水害防止含め早急に屋根の設置を(部長) 現在、屋根を設置する考え方はない×  
幸野) ◆西国分寺駅東口開設に向けて◆改正バリアフリー法の下で「マスタープラン」「バリアフリー基本構想」を策定し、鉄道事業者や東京都と真剣に考える取り組みを進めてほしい。(部長) 今後、情報に留意して進めていきたい△  
幸野) ◆恋ヶ窪駅東口開設に向けて◆類似している秋津駅北口の無人改札口を視察し、確信。自動改札機3台・自動券売機3台で1億3千万円。無人改札口での開設も十分可能ではないか(部長) 参考にしながら研究させて頂きたい△

幸野) ◆バリアフリーの取り組み◆が非常に遅れている。オリパラに向けて加速を求める。  
幸野) ◆人口ビジョンが連続大誤算◆2015年策定「人口ビジョン」も2011年策定「人口推計」も「実人口」との乖離が激しい。政策の大前提になる人口推計が、長年に渡り誤り続けている状況は深刻、政策含め早急に見直しを。  
部長) 指摘のとおり、推計と人口が乖離していることは事実。しかるべき時期に検討する△  
幸野) ◆第三・第四小学校の校庭拡張を◆第三小学校は小学校設置基準の最低校庭面積7,200㎡に照らし3,250㎡不足。第四小学校は2,243㎡不足している。拡張に向け最大限努力を。  
部長) 関係部署と情報を共有、慎重に進める△  
幸野) ◆教員不足に対応した学級サポート◆新

卒・新人教員が即担任で独り立ちしているが、サポートが弱い。市独自で教員を確保し支援を(教育長) まずは校内で指導教員が育成する△  
幸野) ◆映画「みんなの学校」に感銘◆感想は(市長) 教員の熱意や、障がい児への教育の仕方、見守り方、本当に参考になる映画だった○  
幸野) ◆学童保育所狭あい改善・4年生以上解禁◆民間学童を参入しやすくする為にも、4年生の受け入れを開始し、抜本的に増やすべき。(部長) 民間学童と話し合い、情報共有を図る△  
幸野) ◆こどもの発達センターつくしんぼ◆通園教室、集団指導教室UFO、親子の遊び教室、全て不足している。もう1施設、増設すべき。(部長) 他課と連携をとって検討していく△  
※○=前向き、△=含み有、×=冷たい

最期まで自宅に住み続けることのできる街に

国分寺政策市民フォーラム 星 いつろう



☆体操サークル間の「交流の場」を  
星) 「施設には入りたくない。最期まで自宅に住み続けて人生を終えたい」と考える市民は少なくない。こうした方々が、サークルをつくって、市が推奨する「暮らしを拓げる10の筋力トレーニング」を公共施設で取り組んでいる。あるサークルから「この体操は続けることに意義がある。継続して使える場所の確保を市にフォローしていただきたい」といった要望をおきした。このトレーニングを広げ、高齢者の健康維持につなげるために、「各サークルの取り組みや悩み」「市への要望」を交流できるような場を設定していただきたい。  
市) 2017年度に支え手の交流会を実施した。今後についてはご意見を受け止め、検討したい。

☆せん定枝の「負担の小さい出し方」を提案  
星) 自宅で切った枝葉は、規定(太さ5cm未満・長さ60cm未満)にそろえて、ビニール紐で束ねて出すと、市が無料で収集してくれる。しかし、「規定にそろえることが、枝を切る作業よりも大変」との意見は少なくない。「長さ太さがふぞろいのまま、立体型の万能袋に入れて出す方法でも収集していただければありがたい」との提案をいただいた。  
市) 規定の方法が労力を費やすことは理解する。収集・処理事業者と相談し、ご提案を研究したい。  
星) ①高齢者にとって負担が小さくなる。②袋は何度でも使え、なおかつビニール紐の不使用で、環境に優しい。立体型の万能袋による排出

は、このメリットがある。ぜひ進めていただきたい。  
☆草木が生い茂る空き家への対処  
星) 近隣から苦情が寄せられた空き家について、市は所有者に連絡し、適正管理を依頼している。同時に、放置されている空き家の周辺をクリーン運動時に近所の皆さんが協力して掃除するといった地域のご努力もお伺いしている。それでも、生い茂った木が通行の妨げになってしまっている空き家は存在する。所有者と連絡がつかない場合の対応はどのようになっているのか。  
市) 空き家対策の法律に基づく代執行までには至らないケースが通例であり、市も対応には苦慮しているのが現実である。  
→この他「待機児童ゼロ」に向けた施策を提案

課名改正、名実共に人権平和尊重の自治体に

国分寺政策市民フォーラム 皆川 りうこ



◆会計年度任用職員制度は多くの懸念がある。現場の声をよく聞きながら取り組むように。  
答) 懸念は受け止める。市の実態を踏まえて都や他市との情報交換し議論し制度設計をする。  
◆地域福祉の視点で土地活用、高齢者対応を。  
皆) 5/19新町樹林地まつりでは多くの地域の方が来場した。普通財産部分を早期に活用すべき。  
答) あらゆる角度、様々な分野で庁内協議している。市民に有益で効果的であるべく考える。  
皆) 検討過程においては、記録を残すように。  
答) 庁内協議の際の記録はしっかり残していく。  
皆) 再開発事業における高齢権利者に伴う課題がある。東街区の権利者の現状。コミュニティが途切れないような対応が重要。市の見解は?  
答) 権利変換による住居取得が29戸、13戸入居。

今後も清算行為の過程で面談等の機会がある。これまで同様に必要に応じて対応していく。  
皆) 高層マンションが増加の中で地域福祉の面からも、市として見守り等の対応が問われる。  
答) 地域包括支援センターが管理組合に出向き説明や紹介等連携に努めていて今後も継続する。  
◆障害者差別解消法に伴う市の取り組み  
皆) 法律での「合理的配慮」「社会モデル」「過重な負担課さない」の意味は? 答) 障害は主に社会によって作られた仕組みに原因があり、ハード、ソフト双方の環境整備により社会的障壁を取り除いていく「社会モデル」の考え方変わった。「合理的配慮」は無理のない環境整備やサポートのこと。皆) 制度の谷間、たらい回しにならないよう相談事例の共有化、差別解消

に向けて取り組む機関「障害者差別解消支援地域協議会」を設置し、将来は条例化に向けた取り組みを。答) 必要性等慎重に見極めたい。  
◆改正人権平和課。男女平等施策低下せぬよう皆) 「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」が成立。市も施策等取り組みを。答) 国の動向も注視ししっかり対応していく。  
皆) LGB T等多様な性の平等参画は人権尊重で重要。4月施行国立市条例では、アウティング(本人の意思を尊重せず他人が勝手に公表する)を禁止。国分寺市においても活かすように。  
答) 人権問題で大事。講演会、研修等に活かす。皆) ハラスメント防止指針、障害者差別解消要綱等は人権に関わる制度だ。市民に公表せよ。答) 職員向けだがタイミング含め考えてみる。

西国分寺駅、待機児童、無戸籍について

国分寺政策市民フォーラム 及川 妙子



1. 西国分寺駅について  
(1)市民サービスコーナーがないので北口の再開発事業にあわせて検討してほしい。  
(2)南口駅前通りの道路照明灯がよく消えるので調べてほしい。→6月末までに調査する。  
2. 都立多摩図書館について  
4月28日来館者が30万人に達した。西国分寺駅からの道が危険なので道路の安全については優先的に取り組んでほしい。  
3. 待機児童について=都内の待機児童は3,100名減少して5,500名以下になる見通し。当市は203名で育休中102名休職中58名で育休中が70名増。  
(1)申し込み者が260名増えているのが特徴だがどう考えるか?→把握は難しい。  
(2)小規模保育所をつくることについてはどう考

えるか?→短期的には待機児童の解消につながるが3歳児以降の連携圏がネックだ。  
(3)待機児童への細かい丁寧な対応をお願いしたい。保育コンシェルジュが対応したらいいか?→3歳児の空きがなく難しい。幼稚園で受け入れる枠があれば連携したい。  
4. ロケーションボックスについて  
撮影した後の放映日を市民に周知してほしい。また観光協会にも協力してもらい総合的に情報発信してほしい。  
5. 介護保険サービスと障がい者サービスについて=大原則は介護保険サービスが優先だが個々の状況に応じて一律に優先しないのが最新の考えだ。→一律に優先的に利用するものではないことを2号被保険者への対応も含めて職員に

徹底してまいりたい。  
6. 無戸籍について=出生届を出さない、受けつけてもらえないと無戸籍になる。  
(1)戸籍がなくても住民票に記載できるか?→出生届がなくても手続き中であれば記載できる。  
(2)戸籍や住民票がなくても受けられる市民サービスはあるか?→居住の実態が把握できれば児童手当、新生児訪問、保育所入所、国保の適用、小・中学校への就学などが可能だ。  
(3)このことをよく知らない人もいる。HPで相談を受けつけている市もある。当市でも市民に周知して市役所で相談を受けられるようにしてはいいか?→HPを活用して該当者への情報発信をしていきたい。無戸籍でも受けられるサービスは各課に相談していただく。